

平成 26 年度 練馬区当初予算案 記者発表資料



平成26年1月29日

ともに築き 未来へつなぐ
人とみどりが輝く わがまち練馬



練馬区



練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」(C) 練馬区

<目 次>

- | | | |
|---|-----------------|-----------|
| 1 | 平成26年度練馬区当初予算概要 | P 1 ~ 8 |
| 2 | 平成26年度経済対策予算 | P 9 |
| 3 | 平成26年度最重点事業 | P 11 ~ 23 |
| 4 | 平成26年度重点事業 | P 24 ~ 45 |



1 編成にあたっての基本的な考え方

1 法人住民税の一部国税化など税制改正の区財政への影響が懸念される中、将来にわたって持続可能な財政運営を維持しつつ、多様な行政課題に的確に対応していくため、限りある財源を長期計画事業を中心に重点的に配分しました。また、区民生活と区内中小事業者の経営の安定、雇用支援のための経済対策を予算化しました。

2 平成26年4月からの消費税率の引き上げの影響に配慮しつつ、枠配当予算における3%のマイナスシーリングを実施するとともに、平成24年度から二年間にわたり実施した「事務事業の総点検」により、例外なく経費の精査を行いました。また、行政改革の成果として積み立ててきた基金を活用するとともに、後年度の負担に配慮しつつ、起債の活用を図ることにより財源の確保に努めました。



2 予算の規模

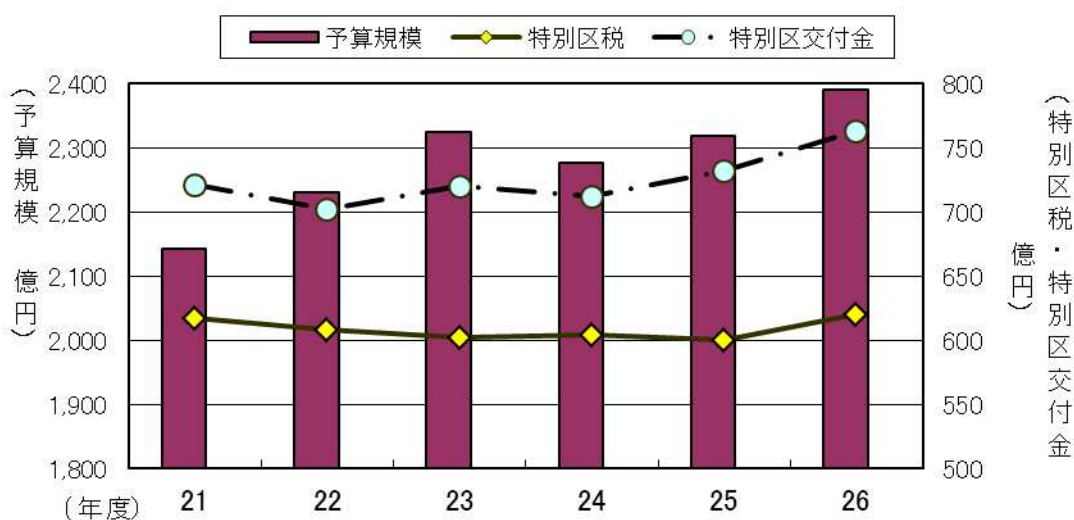
1 一般会計予算規模

平成26年度の一般会計の予算規模は2,391億3,079万円で、前年度に比べて、72億8,029万円、3.1%の増となりました。

(単位:千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率	
				26年度	25年度
一般会計	239,130,792	231,850,503	7,280,289	3.1	1.9

(参考) 一般会計予算規模と特別区税・特別区交付金の推移はつぎのとおりです。



(単位:百万円、%)

年 度	21	22	23	24	25	26
予 算 規 模	214,339	223,150	232,418	227,564	231,851	239,131
伸び率	1.6	4.1	4.2	2.1	1.9	3.1
特 別 区 税	61,740	60,809	60,224	60,429	60,031	62,024
伸び率	4.0	1.5	1.0	0.3	0.7	3.3
特別区交付金	72,131	70,210	71,997	71,246	73,160	76,346
伸び率	6.1	2.7	2.5	1.0	2.7	4.4

2 会計別予算規模

平成26年度の会計別予算規模は下表のとおりです。4つの特別会計と一般会計を合わせた予算総額は3,503億5,243万円で、前年度と比べて132億3,570万円、3.9%の増となりました。

[各特別会計の主な増減] (カッコ内数値は増減額)

(1) 国民健康保険事業会計

保険給付費(6.4億円)などが減となりました。

(2) 介護保険会計

保険事業勘定は、保険給付費(48.3億円)が増となり、基金積立金(1.0億円)が減となりました。

(3) 後期高齢者医療会計

広域連合拠出金(10.0億円)が増となりました。

(4) 公共駐車場会計

公共駐車場事業費(0.1億円)などが減となりました。

(単位:千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	増減額	増 減 率		
				25 26	24 25	
一 般 会 計	239,130,792	231,850,503	7,280,289	3.1	1.9	
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	71,842,603	72,355,168	512,565	0.7	1.1
	介護保険会計	47,110,594	42,353,325	4,757,269	11.2	6.5
	後期高齢者医療会計	14,954,433	13,916,445	1,037,988	7.5	1.6
	公共駐車場会計	520,268	527,437	7,169	1.4	1.1
	計	134,427,898	129,152,375	5,275,523	4.1	2.9
合 計	373,558,690	361,002,878	12,555,812	3.5	2.2	
重 複 控 除 額	23,206,259	23,886,149	679,890	-	-	
差 引 純 計	350,352,431	337,116,729	13,235,702	3.9	2.3	

(注) 重複控除額は、各会計間の重複額です。

3 一般会計予算の概要

1 歳入

(単位:千円・%)

款別	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増減額	増減率
1 特別区税	62,023,946	25.9	60,030,811	25.9	1,993,135	3.3
2 地方譲与税	1,018,000	0.4	1,115,000	0.5	97,000	8.7
3 利子割交付金	910,000	0.4	755,000	0.3	155,000	20.5
4 配当割交付金	720,000	0.3	320,000	0.1	400,000	125.0
5 株式等譲渡所得割交付金	300,000	0.1	82,500	0.0	217,500	263.6
6 地方消費税交付金	8,604,000	3.6	6,450,000	2.8	2,154,000	33.4
7 自動車取得税交付金	360,000	0.2	630,800	0.3	270,800	42.9
8 地方特例交付金	390,000	0.2	420,000	0.2	30,000	7.1
9 特別区交付金	76,346,291	31.9	73,159,588	31.6	3,186,703	4.4
10 交通安全対策特別交付金	88,800	0.0	90,000	0.0	1,200	1.3
11 分担金及び負担金	2,124,176	0.9	1,870,792	0.8	253,384	13.5
12 使用料及び手数料	3,514,396	1.5	3,533,973	1.5	19,577	0.6
13 国庫支出金	45,197,501	18.9	42,883,171	18.5	2,314,330	5.4
14 都支出金	15,196,242	6.4	14,048,641	6.1	1,147,601	8.2
15 財産収入	351,407	0.1	319,721	0.1	31,686	9.9
16 寄付金	6,001	0.0	6,001	0.0	0	0.0
17 繰入金	7,327,241	3.1	10,728,371	4.6	3,401,130	31.7
18 繰越金	2,000,000	0.8	2,000,000	0.9	0	0.0
19 諸収入	5,134,791	2.1	4,790,134	2.1	344,657	7.2
20 特別区債	7,518,000	3.1	8,616,000	3.7	1,098,000	12.7
歳入合計	239,130,792	100.0	231,850,503	100.0	7,280,289	3.1

構成比は四捨五入のため、各欄の合計と合計欄が一致しないことがあります。

[歳入の特徴]

- 特別区税** 特別区税のうち特別区民税は、経済動向を鑑み約 20.9 億円の増を見込みました。また、特別区たばこ税は、約 1.0 億円の減を見込み、特別区税全体では約 19.9 億円の増と見込みました。
- 配当割交付金** 軽減税率適用期限の満了に伴い、前年度に比べて 4 億円の増と見込みました。
- 地方消費税交付金** 消費税率引き上げを反映し、前年度に比べて約 21.5 億円の増と見込みました。
- 特別区交付金** 普通交付金については、基準財政収入額と基準財政需要額の動向および原資となる市町村民税法人分の増収などの見込みにより、前年度に比べて約 31.9 億円の増と見込みました。
- 国庫支出金** 生活保護費負担金や障害者福祉費負担金の増などにより、全体では前年度に比べて約 23.1 億円の増を見込みました。
- 都支出金** 障害者福祉費負担金や密集住宅市街地整備促進事業補助金などの増により、全体では前年度に比べて約 11.5 億円の増を見込みました。
- 繰入金** 施設整備基金から約 35.8 億円、財政調整基金から 25 億円、まちづくり基金から 2 億円など、全体として約 73.2 億円の基金からの繰入金を見込みました。この結果、平成 26 年度末の基金現在高は 446 億円と見込んでいます。
- 特別区債** 区立小中学校や区立施設の改修改築工事、道路・公園整備など約 75.2 億円の事業債を見込み、前年度に比べて約 11.0 億円の減を見込みました。

2 歳 出

(1) 目的(款)別歳出は、つぎのとおりです。

(単位:千円・%)

款 別	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費	1,093,625	0.5	1,124,449	0.5	30,824	2.7
2 総 務 費	15,828,306	6.6	15,218,556	6.6	609,750	4.0
3 区 民 費	22,281,322	9.3	22,529,114	9.7	247,792	1.1
4 産 業 経 済 費	2,667,741	1.1	3,685,082	1.6	1,017,341	27.6
5 地 域 文 化 費	6,024,186	2.5	5,815,343	2.5	208,843	3.6
6 保 健 福 祉 費	72,599,720	30.4	69,231,464	29.9	3,368,256	4.9
7 環 境 費	11,836,846	4.9	11,736,104	5.1	100,742	0.9
8 都 市 整 備 費	9,857,228	4.1	5,842,052	2.5	4,015,176	68.7
9 土 木 費	12,334,759	5.2	13,224,682	5.7	889,923	6.7
10 教 育 費	24,698,027	10.3	25,117,911	10.8	419,884	1.7
11 こ ど も 家 庭 費	50,575,851	21.1	48,838,975	21.1	1,736,876	3.6
12 公 債 費	6,000,516	2.5	7,869,072	3.4	1,868,556	23.7
13 諸 支 出 金	3,232,665	1.4	1,517,699	0.7	1,714,966	113.0
14 予 備 費	100,000	0.0	100,000	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	239,130,792	100.0	231,850,503	100.0	7,280,289	3.1

構成比は四捨五入のため、各欄の合計と合計欄が一致しないことがある。

[歳出の特徴]

- 議会費** 議員報酬および費用弁償の減などにより、31 百万円、2.7%の減となりました。
- 総務費** 選挙執行費の減がある一方で、庁舎維持管理費や防災センター維持運営費などの増があり、6 億 10 百万円、4.0%の増となりました。
- 区民費** 区民事務所整備費の皆増や後期高齢者医療会計への繰出金の増がある一方、国民健康保険事業会計への繰出金などの減があり、2 億 48 百万円、1.1%の減となりました。
- 産業経済費** 区民・産業プラザ整備費の減などにより、10 億 17 百万円、27.6%の大幅な減となりました。
- 地域文化費** 地区区民館の改修経費などの減がある一方、地域体育館等維持運営費などの増があり、2 億 9 百万円、3.6%の増となりました。
- 保健福祉費** 生活保護費や自立支援給付費の増により、33 億 68 百万円、4.9%の増となりました。
- 環境費** 清掃作業運営費などの増により、1 億 1 百万円、0.9%の増となりました。
- 都市整備費** 密集住宅市街地整備促進事業推進費や大泉学園駅北口の再開発事業推進経費などの増により、40 億 15 百万円、68.7%の大幅な増となりました。
- 土木費** 生活幹線道路整備費などの増がある一方、公園新設費や土支田中央区画整理事業費などの減により、8 億 90 百万円、6.7%の減となりました。
- 教育費** 小中学校営繕費などの増がある一方、仮称学校教育支援センター整備費の皆減などにより、4 億 20 百万円、1.7%の減となりました。
- こども家庭費** 私立保育所運営経費や認証保育所経費など、待機児童対策の強化により、17 億 37 百万円、3.6%の増となりました。
- 公債費** 償還金の減により、18 億 69 百万円、23.7%の減となりました。
平成 26 年度末の起債現在高は、7 億円増の 603 億円を見込んでいます。

(2) 性質別歳出は、つぎのとおりです。

(単位:千円、%)

性質別経費	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増減額	増減率
義務的経費	125,476,004	52.5	125,041,651	53.9	434,353	0.3
人件費	45,281,692	18.9	46,624,378	20.1	1,342,686	2.9
扶助費	74,202,022	31.0	70,555,763	30.4	3,646,259	5.2
公債費	5,992,290	2.5	7,861,510	3.4	1,869,220	23.8
投資的経費	25,527,356	10.7	23,723,537	10.2	1,803,819	7.6
その他の経費	88,127,432	36.9	83,085,315	35.8	5,042,117	6.1
合計	239,130,792	100.0	231,850,503	100.0	7,280,289	3.1

構成比は四捨五入のため、各欄の合計と合計欄が一致しない場合がある。

義務的経費

人件費 職員数の削減(57名)などによる給料・職員手当等の減により、13億43百万円、2.9%の減となりました。

扶助費 生活保護費や私立保育所経費の増などにより、36億46百万円、5.2%の増となりました。

公債費 前年度比較では18億69百万円、23.8%の減となりました。

投資的経費

密集住宅市街地整備促進事業推進費や大泉学園駅北口再開発事業関連経費の増などにより、全体として18億4百万円、7.6%の増となりました。

その他の経費

保育園の業務委託や予防接種などの委託料の増により、その他の経費全体では、50億42百万円、6.1%の増となりました。

平成26年度 経済対策予算

<p>予算額</p>	<p>約43億3千万円</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 雇用対策 2千万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雇用促進事業 (トライアル雇用充実助成事業) ○ 就職面接・就職講座事業 (若者自立支援支援事業等) <p>2 景気対策工事の実施 39億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建築工事 15億7千万円 ○ 土木工事 23億3千万円 <p>3 生活対策関連 2億5千万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国等の施策連動の生活関連事業 住宅支援給付事業のほか5事業 <p>4 区内産業支援対策関連 1億6千万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業融資の充実 ○ ビジネスサポートの充実
<p>問合せ</p>	<p>財政課 ☎ 5984-2463</p>



ねり丸は「アニメ・イチバンのまち 練馬区」公式アニメキャラクターとして、平成23年（2011年）3月に誕生した、自称・ヒーロー。練馬の「ねり」と、愛らしく丸みのある容姿から名付けられました。練馬区の特産品「練馬大根」と区名の「馬」をイメージしています。

ゆるキャラ®グランプリ2013では、1,580のキャラクターがエントリーするなか、45位（23区中1位）になりました。

【1】 保育所待機児童ゼロを目指して (P12)

保育定員 1,300 人！大幅拡大へ



【2】 子どもたちを守るんだ (P14)

警察官 OB や警備員、地域のチカラが大活躍



【3】 練馬でずっと住み続けたい (P16)

介護が必要になっても住み続けられるまちに



【4】 アニメ発祥の地を体感しよう (P18)

まちづくりのテーマはアニメの「はじまり」と
「歴史」



【5】 ねりまの農をさらにパワーアップ (P20)


見上げれば青空が 農の学校へようこそ



【6】 時は今!地下鉄大江戸線、延伸にGO (P22)

71 万区民の熱い想いを一つにして、延伸促進活動を
展開します



【 1 】	<h2 style="text-align: center;">保育所待機児童ゼロを目指して</h2> <h3 style="text-align: center;">～保育定員 1,300人！大幅拡大へ～</h3>									
特 色	<p>練馬区長期計画後期実施計画において、平成 22～26 年度の 5 年間の保育所等の整備定員目標数を、当初の約 1,900 人から約 2,700 人に積み増し、受け入れ枠を拡大した。特に、私立認可保育所の設置促進を図るため実施していた内装工事費等開設準備費の補助金額の上限を、平成 26 年度から引き上げるとともに、練馬区が他区に先駆けて独自に実施している開設後 10 年間の長期賃借料補助も引き続き実施する。待機児童が特に多い 0 歳児～2 歳児への対応として、小規模保育事業等の認可外保育施設の整備を行う。</p> <p>「練馬区子ども・子育て支援事業計画」の策定に係る保育ニーズの調査結果を踏まえた保育所等の定員拡充の取り組みを進め、平成 27 年 4 月に向け待機児童ゼロを目指す。</p>									
予算額	<p>2,658,110千円</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">私立認可保育所開設補助等</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,175,430 千円</td> </tr> <tr> <td>認証保育所開設補助等</td> <td style="text-align: right;">171,445 千円</td> </tr> <tr> <td>グループ型家庭的保育事業開設補助等</td> <td style="text-align: right;">86,687 千円</td> </tr> <tr> <td>小規模保育事業開設補助等</td> <td style="text-align: right;">224,548 千円</td> </tr> </table>	私立認可保育所開設補助等	2,175,430 千円	認証保育所開設補助等	171,445 千円	グループ型家庭的保育事業開設補助等	86,687 千円	小規模保育事業開設補助等	224,548 千円	 <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">充実</p>
私立認可保育所開設補助等	2,175,430 千円									
認証保育所開設補助等	171,445 千円									
グループ型家庭的保育事業開設補助等	86,687 千円									
小規模保育事業開設補助等	224,548 千円									




石神井・大泉地区子育ての輪



みどりのカーテンのある園庭

事業目的	<p>保育所待機児童の約 9 割は 0～2 歳児であり、保育所定員拡大にあたり、0～2 歳児に相当する定員は、拡大する定員全体の約 4 割となる。</p> <p>加えて、「練馬区子ども・子育て支援事業計画」等の策定に向けたニーズ調査の実施により暫定集計した保育需要を踏まえ、27 年 4 月に向けて 1,300 人規模の定員拡大を図り待機児童ゼロを目指す。</p> <p>平成 26 年度は、都有地を活用して誘致する私立認可保育所 1 園のほか私立認可保育所 12 園について開設に係る経費の補助を行う。また、認証保育所 2 園の開設およびグループ型家庭的保育事業 2 か所の実施、さらに小規模保育事業 5 か所の実施に係る経費の補助を行うことなどにより、平成 27 年 4 月に向けて 1,300 人規模の定員拡大を図る。</p>
-------------	--

<p>これまでの取り組みおよび現状</p>	<p>区では、保育所待機児童対策を区政の重要課題の一つとして位置づけ、平成22年度から24年度までの3か年を保育所集中整備期間として、認可保育所や認可外保育施設を集中的に整備し、1,800人を超える定員増を図ってきた。さらに、練馬区長期計画後期実施計画（平成24年度～26年度）で、整備定員目標数を当初の約1,900人から約2,700人に引き上げた。</p> <p>しかし、こうした取り組みにもかかわらず、平成25年4月1日現在の待機児童数は、昨年度を55人上回る578人となり、依然として保育所への高い入所需がある。</p> <p>認可・認可外保育施設の定員の推移</p> <table border="1" data-bbox="416 490 1433 891"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度 (予定)</th> <th>27年度 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員 (前年度比)</td> <td>9,840人 (373増)</td> <td>10,443人 (603増)</td> <td>11,146人 (703増)</td> <td>11,664人 (518増)</td> <td>12,406人 (742増)</td> <td>1,300人規模増</td> </tr> <tr> <td> 認可</td> <td>8,414人</td> <td>8,818人</td> <td>9,414人</td> <td>9,885人</td> <td>10,506人</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 認可外</td> <td>1,426人</td> <td>1,625人</td> <td>1,732人</td> <td>1,779人</td> <td>1,900人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>待機児童数 (前年度比)</td> <td>552人 (123増)</td> <td>564人 (12増)</td> <td>523人 (41減)</td> <td>578人 (55増)</td> <td>300人 (推計)</td> <td>0人 (推計)</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値はすべて各年4月1日現在</p>	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (予定)	27年度 (目標)	定員 (前年度比)	9,840人 (373増)	10,443人 (603増)	11,146人 (703増)	11,664人 (518増)	12,406人 (742増)	1,300人規模増	認可	8,414人	8,818人	9,414人	9,885人	10,506人		認可外	1,426人	1,625人	1,732人	1,779人	1,900人		待機児童数 (前年度比)	552人 (123増)	564人 (12増)	523人 (41減)	578人 (55増)	300人 (推計)	0人 (推計)
年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (予定)	27年度 (目標)																														
定員 (前年度比)	9,840人 (373増)	10,443人 (603増)	11,146人 (703増)	11,664人 (518増)	12,406人 (742増)	1,300人規模増																														
認可	8,414人	8,818人	9,414人	9,885人	10,506人																															
認可外	1,426人	1,625人	1,732人	1,779人	1,900人																															
待機児童数 (前年度比)	552人 (123増)	564人 (12増)	523人 (41減)	578人 (55増)	300人 (推計)	0人 (推計)																														
<p>事業概要</p>	<p>1 私立認可保育所の誘致促進</p> <p>(1)民有地の土地・建物の賃借による整備 民間の保育事業者が認可保育所を開設する際に、内装工事費等を補助することにより、平成27年4月に12園の開設を予定。また、平成22年度以降に開設した20園に対して、開設後10年間にわたる賃借料を補助する。さらに、本体工事費等施設整備費を補助することにより、平成26年度中に私立認可保育所1園を改修する。 (内装工事費等補助金の引き上げ 平成25年度まで上限30,000千円 平成26年度以降上限65,625千円)</p> <p>(2)公有地の貸付による整備 東京都が事業者にも公有地を貸付け、私立認可保育所を誘致する。保育所設置者に対し本体工事費などの施設整備費を補助することにより、平成27年4月に1園の開設を予定。</p> <p>2 小規模保育事業の誘致促進 3歳未満児を中心とした保育需要に対応し、定員19人以下で保育を実施する。開設準備経費補助および開設前家賃補助を行うことにより、平成26年度中に5か所での新規実施を予定。</p> <p>3 認証保育所の誘致促進 設計費・工事費等の開設準備経費の補助を行うことにより、平成26年度中に2園の開設を予定。</p> <p>4 グループ型家庭的保育事業の拡充 内装工事費等開設準備経費を補助することにより、平成26年度中に新たに2か所での新規実施を予定。</p>																																			
<p>スケジュール</p>	<p>平成27年4月 合計1,300人規模の定員拡大</p> <p>一部施設は平成27年4月を待たずに順次開設する。</p> <p>私立認可保育所13園の新規開設(内、公有地1園)(定員1,080人程度) 小規模保育事業5か所の新規実施(定員90人程度) 認証保育所2園の新規開設(定員80人程度) グループ型家庭的保育事業2か所の新規実施(定員30人程度) その他、私立認可保育所既存園の定員増など</p>																																			
<p>問合せ</p>	<p>保育課 ☎ 5984-5839</p>																																			

<p>【 2 】</p>	<h2 style="text-align: center;">子どもたちを守るんだ</h2> <p style="text-align: center;">～ 警察官 OB や警備員、地域のチカラが大活躍～</p>											
<p>特 色</p>	<p>平成 25 年 6 月、区立小学校の児童が、学校の正門の付近で男に刃物で切りつけられた事件を契機に、学校外における子どもたちの安全を確保するため、新規に実施または充実する事業である。警備防犯のプロの力を借りるとともに、区、教育委員会、地域が連携を強化し、子どもたちの安全を守る。教育委員会が独自に警察官 OB を非常勤職員として採用する例は他区にもあるが、防犯に特化した職の設置は 23 区初である。</p> <p>民間警備員については、必要な時に効果的・効率的に配置する方式をとることにより、費用対効果と機動性を高めた。</p> <p>地域防犯防火連携組織は、地域の核となる小学校区域を単位とする組織であり、地域の実情に応じた活動が期待されている。</p>											
<p>予算額</p>	<table border="0"> <tr> <td>19,764 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校防犯指導員報酬等</td> <td style="text-align: right;">3,731 千円</td> </tr> <tr> <td>学校警備委託料</td> <td style="text-align: right;">15,423 千円</td> </tr> <tr> <td>スクールガード・リーダー謝礼</td> <td style="text-align: right;">160 千円</td> </tr> <tr> <td>地域防犯防火連携組織補助金</td> <td style="text-align: right;">450 千円</td> </tr> </table>	19,764 千円		学校防犯指導員報酬等	3,731 千円	学校警備委託料	15,423 千円	スクールガード・リーダー謝礼	160 千円	地域防犯防火連携組織補助金	450 千円	<div style="text-align: center;">  <p>ねりま 最重点事業</p> </div> <p style="text-align: center;">新規・充実</p>
19,764 千円												
学校防犯指導員報酬等	3,731 千円											
学校警備委託料	15,423 千円											
スクールガード・リーダー謝礼	160 千円											
地域防犯防火連携組織補助金	450 千円											




地域防犯防火連携組織での訓練の様子




<p>事業目的</p>	<p>区民や子どもの安全・安心は、区長部局と教育委員会が相互に連携、協力しながら様々な取組みを進めてきたが、議会や保護者の要望を踏まえ、平成 26 年度はより一層の事業の充実を図るものである。</p> <p>教育委員会では、警察との連携を強化する観点から、警察官 OB を非常勤職員として採用し、防犯施策等に関する助言・指導・支援するなどの業務を担ってもらうとともに、東京都のスクールガード・リーダー事業を活用し、地域ボランティア等に対する防犯講習会に警察官 OB 等の防犯の専門家のスクールガード・リーダーを講師として派遣する取組を新たに始めることとした。</p> <p>また、保護者等から要望されている学校への民間警備員の配置については、26 年 2 月から試行実施する。常駐方式ではなく派遣方式により、必要な時に効果的・効率的に配置する体制を本格的に実施することとした。</p> <p>一方、地域防犯防火連携組織は、小学校の学区域を単位とした地域の防犯防火の核となる連携組織を 26 年度中に新たに 2 組織を設置するとともに、さらなる設置に向け、地域に対する働きかけを強化していく。</p>
-------------	---


<p>これまでの取り組みおよび現状</p>	<p>切りつけ事件後、区では、地域との連携強化、情報の共有化、および安全教育の充実という視点で対策を進めてきた。</p> <p>地域との連携強化については、校内の見守りを行う学校安全安心ボランティアに対して校外の見守りにも対応できるベストの配布や、事件のあった大泉第一小学校において、地域防犯防火連携組織として「あんしん大一」の立ち上げを行った。この連携組織は、現在区内で12組織が設置されており、25年度中にもう1団体立ち上げる予定である。</p> <p>情報の共有化については、25年9月から教育委員会において、学校、幼稚園や保育所、学童クラブの保護者へ緊急的にメールで情報を一斉に配信するシステムを導入した。</p> <p>安全教育の充実については、実践的な安全教育の指針となるべき「不審者対応の手引き」を25年12月に教育委員会で策定し、児童・生徒の安全教育の徹底を図ってきた。</p> 
<p>事業概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学校防犯指導員」の設置 <p>教育委員会事務局内に非常勤の警察官OBによる「学校防犯指導員」を設置し、4月から以下の業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会の行う防犯施策等に関する助言・指導・支援 (2) 不審者情報の分析および民間警備員の配置に関する助言・指導・支援 (3) 通学路等学校の点検・巡回指導 (4) 子どもの安全と防犯に関わる相談業務 等 2 民間警備員の派遣 <p>不審者の発生等により重点的な見守りが必要とされる学校について、4月から民間警備員を派遣し、登下校時の見守りおよび周辺の巡回を行い、学校外の安全対策を強化する。</p> <p>* 25年度中の試行実施期間は、不審者情報に基づく配置を行うが、26年4月からの本格実施については、予防的観点からの配置も行う。</p> 3 スクールガード・リーダーの活用 <p>地域ボランティア等を対象とした防犯に関する講習会の講師やアドバイザーとして、スクールガード・リーダーの派遣を行う（随時）</p> 4 地域防犯防火連携組織への助成 <p>地域防犯防火連携組織に対し、地域における防犯・防火活動のための各種経費に充てる活動費として年間3万円を助成。26年度中に新たに2組織を設置するとともに、さらなる設置に向け、地域に対する働きかけを強化していく。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>平成 25 年度中 ・ 2 月 学校警備委託の試行開始 ・ 地域防犯防火連携組織 2 組織設置（合計 13 組織）</p> <p>平成 26 年度中 ・ 4 月 「学校防犯指導員」配置 ・ 地域防犯防火連携組織 2 組織設置（合計 15 組織）</p>
<p>問合せ</p>	<p>教育総務課 ☎ 5984 - 5594（「学校防犯指導員」の設置 他） 安全・安心担当課 ☎ 5984 - 1241（地域防犯防火連携組織への助成）</p>

【3】	<h2 style="text-align: center;">練馬でずっと住み続けたい</h2> <h3 style="text-align: center;">～介護が必要になっても住み続けられるまちに～</h3>	
特色	<ul style="list-style-type: none"> ■区内には特別養護老人ホームが25施設（1724床）あり、23区内では最も施設数が多い。介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりのため、今後もさらに整備を促進していく。 ■平成26年度は、特別養護老人ホーム2施設（100床）や介護老人保健施設2施設（156床）、都市型軽費老人ホーム5施設（90床）、認知症の方のためのグループホームなど地域密着型サービス拠点7か所への補助など、多様な介護保険施設やサービスを充実する。 ■高齢者へのきめ細やかな相談に対応する高齢者相談センター（地域包括支援センター）について、26年度に新たに整備する介護予防機能を持つ敬老館内に支所を1か所増設する。 	
予算額	<p>821,889千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆施設整備助成費 728,300千円 ◆高齢者相談センター支所増設経費 13,832千円 ◆敬老館新設経費 79,757千円 	 <p style="font-size: 1.2em; margin-top: 10px;">充実</p>



事業目的	<p>要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等を整備する民間事業者に対し、経費の一部を補助することにより、高齢者福祉施設の整備を促す。</p> <p>増え続ける介護サービス等の需要に応えるため、高齢者の総合的な生活支援を行う高齢者相談センターの整備を進める。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">平成25年6月に区有地の活用により開設した特別養護老人ホーム</p>
------	--

<p>これまでの取り組みおよび現状</p>	<p>練馬区高齢者基礎調査（平成 23 年 3 月）によると、多くの高齢者は、要介護状態になっても、生涯にわたり住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいという意向を持っている。そこで、区では、在宅での介護が困難で早期の施設入所が必要な方に対応する、特別養護老人ホームの整備を進めており、区独自施策として、整備事業者に対して、1 床につき 210 万円の補助を実施しているほか、区有地を活用した整備を進めてきた。</p> <p>一方、高齢化の進行に伴い、将来への不安から特別養護老人ホームの入所申込をする方が多く、区内の特別養護老人ホーム入所待機者は平成 25 年 9 月末現在で 2,777 人という状況である。</p> <p>これに対応するため、介護老人保健施設のほか、24 時間対応の訪問介護看護サービスや認知症高齢者グループホーム等の地域密着型サービス拠点、都市型軽費老人ホームといった多様な施設・サービスの整備を促進し、在宅で安心して介護が受けられる地域づくりに向けた基盤整備に取り組んでいる。</p> <p>このほか、区の学校給食第二総合調理場跡地を活用した特別養護老人ホーム（80 床予定）の整備にも、平成 29 年度の開設を目指して取り組む。</p> <p>また、地域で高齢者の総合的な生活支援を行う高齢者相談センター（地域包括支援センター）は、現在、本所 4 か所、支所 24 か所に対応している。高齢者の生活全般に関わる相談体制を充実させるため、高齢者相談センター支所について、26 年度に 1 か所増設し、25 か所にする。</p>															
<p>事業概要</p>	<p>1 高齢者福祉施設等の整備促進</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム 平成 26 年度は 2 施設 100 床に補助予定。平成 25 年度補助分 1 施設を含め平成 27 年 8 月までに 3 施設 190 床開設予定。</p> <p>(2) 介護老人保健施設 平成 26 年度は 2 施設 156 床に補助予定。平成 27 年 12 月までに開設予定。</p> <p>(3) 地域密着型サービス拠点（グループホーム等） 平成 26 年度は 7 事業所に補助予定。うち 6 事業所が平成 27 年 5 月までに開設予定。</p> <p>(4) 都市型軽費老人ホーム 平成 26 年度は 5 施設 90 床に補助予定。うち 3 施設 50 床が平成 27 年 3 月までに開設予定。</p> <p>2 相談支援体制の強化（高齢者相談センター支所の新規開設） （仮称）石神井高齢者相談センター上石神井支所（上石神井 1-6-16） 上石神井出張所内に設置する。</p>															
<p>スケジュール</p>	<p>1 高齢者福祉施設等の整備</p> <table border="1" data-bbox="411 1742 1422 1944"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度中開設予定</th> <th>平成 27 年度中開設予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>2 施設（140 床）</td> <td>1 施設（50 床）</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>———</td> <td>2 施設（156 床）</td> </tr> <tr> <td>地域密着型サービス拠点</td> <td>4 事業所</td> <td>2 事業所</td> </tr> <tr> <td>都市型軽費老人ホーム</td> <td>3 施設（50 床）</td> <td>1 施設（20 床）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 相談支援体制の強化 平成 26 年 10 月開設（仮称）石神井高齢者相談センター上石神井支所</p>		平成 26 年度中開設予定	平成 27 年度中開設予定	特別養護老人ホーム	2 施設（140 床）	1 施設（50 床）	介護老人保健施設	———	2 施設（156 床）	地域密着型サービス拠点	4 事業所	2 事業所	都市型軽費老人ホーム	3 施設（50 床）	1 施設（20 床）
	平成 26 年度中開設予定	平成 27 年度中開設予定														
特別養護老人ホーム	2 施設（140 床）	1 施設（50 床）														
介護老人保健施設	———	2 施設（156 床）														
地域密着型サービス拠点	4 事業所	2 事業所														
都市型軽費老人ホーム	3 施設（50 床）	1 施設（20 床）														
<p>問合せ</p>	<p>高齢社会対策課 ☎ 5984-4583</p>															

【 4 】	<h2 style="text-align: center;">アニメ発祥の地を体感しよう</h2> <p style="text-align: center;">～まちづくりのテーマはアニメの「はじまり」と「歴史」～</p>	
特色	<p>ジャパンアニメーション発祥の地である大泉地区のアニメに関わる歴史や資源を活かし、大泉学園駅周辺地域において、アニメデザインを取り入れたまちづくりを進める。駅北口地区の再開発事業により整備するペDESTリアンデッキに、最初の取組みとしてアニメの「はじまり」と「歴史」をテーマにした空間を創出する。</p> <p>練馬区、大泉の地で生まれた複数の人気アニメキャラクターのモニュメント等を設置する。</p> <p>アニメ発祥の地とアニメの歴史を体感できるような空間をモニュメントやデジタルサイネージ等によって創出する。</p> <p>特定の作者のキャラクターを設置した事例は数多くあるが、多様な作者のキャラクターを同一の空間に整備することは珍しい。</p>	
予算額	<p>97,470千円 ペDESTリアンデッキアニメモニュメント等設置等 業務委託</p>	<div style="text-align: center;">  <p>ねりま 最重要事業</p> <p>充実</p> </div>



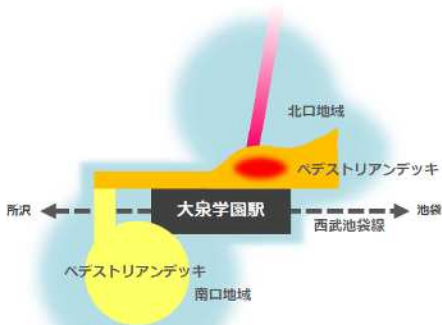
再開発ビル・ペDESTリアンデッキ完成イメージ

事業目的	<p>ジャパンアニメーション発祥の地を体感できる空間を創出し、アニメのまちの玄関口を整備する。</p> <p>アニメを活かしたまちづくりにより、まちの活性化、にぎわいの創出や商店街振興を図る。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>モニュメントイメージ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="507 1682 751 2056"> </div> <div data-bbox="906 1720 1437 2056"> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">練馬区ゆかりのキャラクター</p> </div>	
------	--	--


<p>これまでの取り組みおよび現状</p>	<p>大泉学園駅北口地区の商店街では、地域のにぎわいづくりや商店街振興のために、大泉在住のマンガ家・松本零士氏の協力を得て、松本氏の作品をモチーフにした街路灯やフラッグを商店街に設置しているほか、独自のアニメキャラクターを制作するなど、アニメを活用しながらジャパンアニメーション発祥の地に相応しい商店街づくりに取り組んでいる。</p> <p>また、大泉地区をジャパンアニメーション発祥の地として区内外にPRするため、地域の商店街や区、鉄道・アニメ事業者等が一体となり、平成14年からアニメイベントの開催や、大泉学園駅で銀河鉄道 999 のキャラクターの活用などを行い、アニメのまちならではの地域おこしを行っている。</p> <p>一方、大泉学園駅北口では、平成16年から市街地再開発事業によるまちづくりの検討が進められ、平成23年に大泉学園駅北口地区地区計画と併せて市街地再開発事業が都市計画決定され、平成25年から工事に着手し、平成27年3月に完了する予定となっている。</p> <p>再開発事業概要 東京都練馬区東大泉一丁目地内 再開発ビルの整備： 地上27階、地下2階 住宅・商業施設・公益施設等 公共施設の整備： 道路の拡幅・駅前広場・ペDESTリアンデッキの整備等</p>
<p>事業概要</p>	<p>ジャパンアニメーション発祥の地である練馬区において、大泉地区はまさにその源流となる土地である。数々のアニメの名作が生まれるとともに、多様な世代を代表するアニメキャラクターが誕生し、日本そして世界の人々に親しまれてきた。このような地域の特徴を活かし、アニメ発祥の地に相応しい街並みを整備するため、大泉学園駅を中心にアニメデザインを積極的に取り入れたまちづくりを展開していく。</p> <p>現在、駅北口地区の再開発事業が進められ、区民からの要望が多かった駅直近のバス乗り場や駅前広場そしてペDESTリアンデッキを一体で整備する。</p> <p>これを契機に、駅北口をアニメのまちの玄関口として、ペDESTリアンデッキにアニメキャラクターや大泉地区とアニメづくりの足跡を紹介するモニュメント等を設置し、アニメを感じ、アニメに触れることができる空間を整備する。</p> <p>今後、さらに、まちづくりや施設等の改修整備等にあわせ、駅や駅南口、また、駅から東映アニメーションギャラリーまでの地域においても、地域住民や企業等との協議を進め、アニメデザインを活用したまちづくりを広げていく。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年4月～9月 アニメモニュメント等の実施設計 平成26年10月～平成27年3月 アニメモニュメント等の制作・設置 (現在工事中)～平成27年3月 ペDESTリアンデッキの整備</p>
<p>問合せ</p>	<p>商工観光課 ☎ 5984-4564 (アニメのモニュメント等の整備) 西部地域まちづくり課 ☎ 5984-1592 (再開発・ペDESTリアンデッキ整備)</p>



アニメイベントの彩色体験



アニメデザイン活用予定地域

【5】	<h2 style="text-align: center;">ねりまの農をさらにパワーアップ</h2> <h3 style="text-align: center;">～見上げれば青空が 農の学校へようこそ～</h3>	
特色	<p>■ 農業者の高齢化による労働力の低下や後継者不足など都市農業・農地を取り巻く環境は厳しさを増している。区では区民全体で農業を支え、農地を保全する仕組みとして、仮称練馬区農の学校を開校する。農の学校では、複数の講座を設け、農業者の支え手となる農サポーターを育成するとともに、講座の修了生が活躍する場（区内農家の畑）も農の学校がコーディネートする。段階を踏んだボランティア育成や講座修了後に農業者等とのコーディネートを行う事業は都内でもめずらしい事業である。</p> <p>■ 練馬区では都内生産量第1位のキャベツからブルーベリー観光農園まで多様な農業が営まれている。この練馬農業をさらに元気にするため、地場農産物に対する育成支援や営農環境の整備に対する補助事業を実施し農業振興を図る。</p>	
予算額	<p>83,486千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 仮称練馬区農の学校推進経費 26,033千円 ◆ 都市型農業経営支援事業補助等 50,557千円 ◆ 都市農地保全調査委託 6,897千円 	 <p>ねりま 最重点事業</p> <p>充実</p>



練馬の農の風景



農の学校講座イメージ

事業目的	<p>練馬大根というブランド野菜を有する練馬区にとって、農は練馬区の特徴の一つであることから、農地の保全や農業の振興に積極的に取り組んでいる。また、区民の農とふれあいたいといったニーズが高まる一方で、農業者や農地は減少し続けている。こうした中で、農に関心のある区民を対象に、ふれあい・初級・中級Ⅰの3つの講座を持ち、農業のスキルを段階を追って習得できる仮称練馬区農の学校を設置し、農業者を支えていくための人づくりを行う。</p> <p>さらに、平成23年に策定した「練馬区農業振興計画」に基づく農業振興事業を複合的に実施し、区内農業者が多様な魅力ある都市農業を展開し、農業を続けていくための支援を行う。</p> <p>また、農の風景育成地区制度の活用により、減少しつつある農地を保全し、農のある風景を将来に引き継ぐ。</p>
------	--

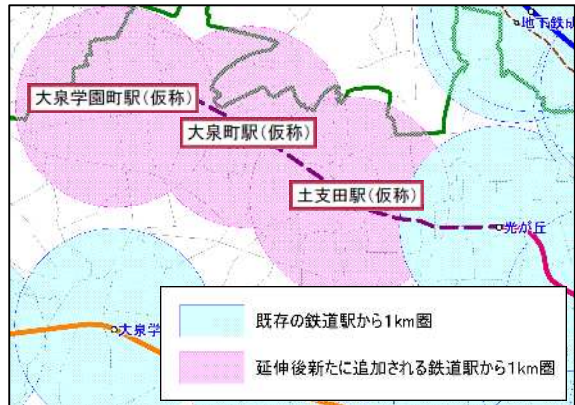


<p>これまでの取り組みおよび現状</p>	<p>1 農の人材育成 練馬区では、農家の農作業をお手伝いする「農作業ヘルパー・援農ボランティア養成事業」を平成 18 年度から本格的に実施しており、平成 25 年 12 月末現在、援農ボランティア等に登録している区民は延 68 名を数える。仮称練馬区農の学校は、これを引き継ぎ、発展させた事業である。平成 23 年 2 月に策定した「練馬区農業振興計画」に基づき検討を進め、平成 25 年 3 月仮称練馬区農の学校実施計画を策定した。</p> <p>2 都市型農業の振興</p> <table border="1" data-bbox="448 450 1433 703"> <thead> <tr> <th></th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者等の認定者数</td> <td>—</td> <td>21 経営体</td> <td>32 経営体</td> <td>12 経営体</td> </tr> <tr> <td>地産地消推進農業施設の整備支援</td> <td>10 棟</td> <td>5 棟</td> <td>6 棟</td> <td>12 棟</td> </tr> <tr> <td>生産緑地保全に伴う基盤整備支援</td> <td>9 か所</td> <td>10 か所</td> <td>9 か所</td> <td>9 か所</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 農の風景育成地区 農地を含む貴重な風景の保全を図るために農地や屋敷林など比較的まとまっている地域について、地域のまちづくりとも連携しながら農のある風景を保全、育成していく制度である（都制度）。平成 26 年度の地区指定に向け、農地所有者の意向調査等について検討している。</p>		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	認定農業者等の認定者数	—	21 経営体	32 経営体	12 経営体	地産地消推進農業施設の整備支援	10 棟	5 棟	6 棟	12 棟	生産緑地保全に伴う基盤整備支援	9 か所	10 か所	9 か所	9 か所
	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度																	
認定農業者等の認定者数	—	21 経営体	32 経営体	12 経営体																	
地産地消推進農業施設の整備支援	10 棟	5 棟	6 棟	12 棟																	
生産緑地保全に伴う基盤整備支援	9 か所	10 か所	9 か所	9 か所																	
<p>事業概要</p>	<p>1 仮称練馬区農の学校推進 仮称練馬区農の学校の中核拠点を整備する。中核拠点は、区立高松市民農園（3,696 m²）を活用し、農作業を学ぶ圃場を整備しつつ、農に関心を持つ区民の中から農業者の支え手となる人材を育成する。加えて中核拠点では、育成した区民が農サポーターとして活躍できるよう、農業者や農サポーターの情報を相互に提供しながら、コーディネートも行う。 【施設の概要】講習施設、圃場（約 300 m²×3 か所）、ビニールハウス（300 m²）、洗い場、個人用ロッカー等</p> <p>2 都市型農業の振興 (1) 認定農業者及び都市型認定農業者を対象に、トラクターや野菜無人販売機など農業経営の近代化および省力化につながる機械、設備の購入、整備に対し補助する。 (2) 地場農産物の安定供給や有機・減農薬農業による安心安全な農産物の生産基盤強化のため、IPM ハウスの整備や資材、肥料等の購入に対し補助する。 (3) 住宅に囲まれている都市環境の中で、調和のとれた農業が確立できるよう土留やフェンス、農業用井戸の整備等に対し補助する。</p> <p>3 農の風景の保全（農の風景育成地区制度の活用） 農の風景育成地区指定を受けるための申請を行い、都市計画公園など都市計画制度を積極的に活用した農地の保全を図る。</p>																				
<p>スケジュール</p>	<p>仮称練馬区農の学校 平成 26 年 7 月 整備工事 平成 26 年 12 月 竣工・受講生募集 平成 27 年 3 月 仮称 練馬区農の学校開校 ※農の風景育成地区の指定は平成 26 年度中を予定</p>																				
<p>問合せ</p>	<p>都市農業課 ☎ 5984-1384(仮称練馬区農の学校、都市型農業) みどり推進課 ☎ 5984-2430(農の風景の保全)</p>																				

<p>【 6 】</p>	<p>時は今！地下鉄大江戸線、延伸にGO ~71万区民の熱い思いを一つにして、延伸促進活動を展開します~</p>													
<p>特 色</p>	<p>区は、区北西部の鉄道空白地域を改善するため、都営地下鉄大江戸線の大泉学園町への延伸の早期実現を区政の最重要課題として位置づけ、延伸促進活動等に取り組んでいる。運輸政策審議会答申の目標年次である平成27年が近づいていること等を踏まえ、延伸の実現の機運をさらに盛り上げるために、延伸促進活動を充実発展させ、初めて延伸地域にとどまらない区内各所で様々な延伸促進活動を展開する。71万区民の大きな後押しにより、事業者である東京都に強く要請し、大江戸線の早期延伸を実現する。</p> <div data-bbox="1161 293 1445 689" style="float: right;"> <p>大江戸線の早期延伸に向けて</p> <p>★練馬区</p> <p>大江戸線延伸パンフレット</p> </div>													
<p>予算額</p>	<table border="0"> <tr> <td>523,015千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大江戸線延伸推進経費</td> <td>11,662千円</td> </tr> <tr> <td>大江戸線延伸推進基金積立金</td> <td>200,694千円</td> </tr> <tr> <td>土支田中央区画整理事業費</td> <td>71,035千円</td> </tr> <tr> <td>地区計画推進経費他</td> <td>231,694千円</td> </tr> <tr> <td>地域まちづくり推進経費</td> <td>7,930千円</td> </tr> </table>	523,015千円		大江戸線延伸推進経費	11,662千円	大江戸線延伸推進基金積立金	200,694千円	土支田中央区画整理事業費	71,035千円	地区計画推進経費他	231,694千円	地域まちづくり推進経費	7,930千円	<div style="text-align: center;"> <p>ねりま 最重要事業</p> <p>充実</p> </div>
523,015千円														
大江戸線延伸推進経費	11,662千円													
大江戸線延伸推進基金積立金	200,694千円													
土支田中央区画整理事業費	71,035千円													
地区計画推進経費他	231,694千円													
地域まちづくり推進経費	7,930千円													



大江戸線延伸地域図



延伸により鉄道利便性が向上する地域

<p>事業目的</p>	<p>平成12年1月、運輸大臣(現国土交通大臣)の諮問機関である運輸政策審議会(現交通政策審議会)答申第18号は、都営地下鉄大江戸線の光が丘から大泉学園町への延伸を「平成27年までに整備着手することが適当である路線」として位置付けている。当時、導入空間である都市計画道路補助230号線の整備に時間を要すると見込まれ、速やかな整備着手が困難であるとされた。現在、補助230号線は、大江戸線の延伸区間である大泉学園通りまでの全区間が事業化され、笹目通りから土支田通りまでの1.1kmの区間では、すでに交通開放されるまでに至り、駅広用地もすでに確保したことから、答申時における課題は着実かつ確実に解決する目途がたっている。</p> <p>答申の目標年次が迫り、大江戸線の導入空間の整備が進む中、延伸の早期実現に向けて、さらに機運を高める延伸促進活動を展開するとともに、大江戸線延伸推進基金を積み増し、区の強い姿勢を関係機関に示していく。</p> <div data-bbox="1066 1809 1430 2078" style="float: right;"> <p>補助230号線(交通開放区間)</p> </div>
--------------------	---

<p>これまでの取り組みおよび現状</p>	<p>区は、都営地下鉄大江戸線延伸の早期実現のため、区民・区議会と一体となって「大江戸線延伸促進期成同盟(会長 志村豊志郎区長)」を設立し、25 年間、延伸促進活動に取り組んでいる。</p> <p>区は、地下鉄の導入空間となる補助 230 号線の整備促進に資する、土支田中央土地区画整理事業や地区計画など、延伸地域にふさわしいまちづくりにも取り組んでいる。また、大江戸線延伸推進基金を設立(平成 23 年 4 月施行)し、毎年継続的に積立てを行っている(平成 25 年度現在 約 9 億円)。</p> <p>さらに、昨年、大江戸線延伸促進大会を開催し、区民等の力を結集して、国や東京都に対して、延伸の早期実現を要請していく旨の決議を行い、要望書を提出した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="403 528 842 819"> </div> <div data-bbox="863 497 1136 857"> </div> <div data-bbox="1157 497 1430 857"> </div> </div> <p>大江戸線延伸促進大会の会場の様子。 会場一杯の区民が集まる中、開催された。 (平成 25 年 11 月)</p> <p>東京都前田副知事へ要望書 を手渡す志村区長 (平成 25 年 12 月)</p> <p>太田国土交通大臣へ要望書 を手渡す志村区長 (平成 25 年 12 月)</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 区内全域におよぶ延伸促進活動</p> <p>(1)大江戸線延伸事業の積極的な発信 本庁舎アトリウムに大江戸線を身近に感じる展示を行いながら、これまでの延伸促進活動や延伸地域の魅力を積極的に発信していく。</p> <p>(2)出張啓発活動 延伸地域にとどまらず、練馬まつり等の多くの方が来場する場所に出張して延伸地域のまちの魅力を紹介するとともに、大江戸線延伸の PR を行う。また、大江戸線の大泉学園町への延伸の早期実現に向けた署名活動を行う。</p> <p>(3)区立施設における啓発 のぼり旗を作成(平成 24 年に実施したポスターコンクールの作品を活用)し、区内各施設に配付し、延伸促進の機運を高める。</p> <p>(4)記念品の作成 本庁舎アトリウムにおける展示会や練馬まつり等の来場者に配布する記念品を作成する。</p> <p>2 延伸促進立看板の増設 新駅が予定されている三箇所の交通広場予定地に、延伸促進立看板を設置する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1029 1003 1182 1160"> </div> <div data-bbox="1198 1003 1430 1160"> </div> </div> <p>展示ブース(イメージ)</p> <div data-bbox="1136 1335 1430 1541"> </div> <p>ポスターコンクール最優秀作品</p> <div data-bbox="1136 1585 1430 1769"> </div> <p>記念品(イメージ)</p>
<p>スケジュール</p>	<p>平成 25 年度 大江戸線延伸促進大会開催(11 月) 東京都への要請活動(12 月) 国土交通省への要請活動(12 月)</p> <p>平成 26 年度 啓発活動等の拡充 関係機関への要請活動</p>
<p>問合せ</p>	<p>大江戸線延伸推進課 ☎ 5984 - 1582</p>

【1】 次代を担う子どもの健やかな成長のために

- 1 学校教育を支援します！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25
- 2 特別教室にもエアコンを設置・・・・・・・・・・・・・・・・ P26
- 3 子育ての強い味方です！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P27
- 4 夏休みを楽しく、安全に！・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P28

【2】 誰もが安心して暮らせる社会のために

- 5 熱中症指標計を配布します！・・・・・・・・・・・・・・・・ P29
- 6 都有地活用！区内初の民設福祉園を整備・・・・・・・・ P30
- 7 生活が困窮し、立ちすくむ人々のために・・・・・・・・ P31
- 8 自宅で安心して自分らしい生活を続けるために・・・・ P32

【3】 にぎわいとやすらぎのあるまちを創るために

- 9 地域を守るのは君だ！防災学習センター開設・・・・・・・・ P33
- 10 豪イプスウィッチ市との友好交流 20年・・・・・・・・ P34
- 11 よろず企業相談うけたまわります・・・・・・・・・・ P35
- 12 区内4幹線道路を走破しよう！・・・・・・・・・・・・ P36
- 13 豊かなみどりの中でスポーツや文化芸術を・・・・・・・・ P37
- 14 美術の森緑地にアートを・・・・・・・・・・・・・・・・ P38

【4】 環境と共生する快適なまちの形成のために

- 15 わんぱくでいいじゃないか！！・・・・・・・・・・・・ P39
- 16 ごみをため込んでしまった高齢者宅等を支援・・・・・・・・ P40
- 17 年間利用100万人を目指して・・・・・・・・・・・・ P41
- 18 通勤・通学から買い物利用まで・・・・・・・・・・・・ P42
- 19 自転車シミュレーターで交通ルールを学ぼう！・・・・ P43
- 20 見えない地下の安全も忘れない！・・・・・・・・・・・・ P44

【5】 未来を拓く区政経営を進めるために

- 21 練馬への好感度、さらにアップします！・・・・・・・・ P45

【 1 】	<h2 style="margin: 0;">学校教育を支援します！</h2> <p style="margin: 0;">～ 未来を担う子どもたちのために、学校教育支援センターを開設～</p>	
特 色	<p>学校教育の充実を図るための教育研究、研修の拠点。 新たにスクールソーシャルワーカーを配置し、支援の必要な子どもや保護者等へ児童相談所等の関係機関と連携を図りながら円滑な支援を行う。 ネリマフレンド事業を拡充し、家庭訪問や登校の付添いなどにより、自宅に閉じこもりがちな子どもたちに登校を促す支援を行う。</p>	
予算額	3 4 7 , 7 7 1 千円	新規



学校教育支援センター外観



教員研修の様子

事業目的	<p>総合教育センターを発展的に改組し、学校教育支援センターを開設する。 新たに整備する研修室での教職員の教育研究・研修の拠点となること。 子どもや保護者が抱える悩みを相談する教育相談室の面談室の増設など、施設の拡充に伴う教育相談事業の体制を充実させるとともに、光が丘分室、練馬分室、関分室を統括する教育相談事業の拠点となること。 子どもの年齢や状況に応じた必要な情報を掲載したリーフレット『健やかに育てる』を発行するなど、情報発信の拠点となること。</p>
事業概要	<p>所在地 練馬区光が丘6丁目4番1号（光が丘第二小学校跡施設） 敷地面積 12,001 m² 床面積 4,375 m²（共有部分を含む。） 本館 鉄筋コンクリート造 地上4階建（1～3階部分） 体育館 鉄骨造 地上2階建 上記の事業目的の他、理科室の活用や大学等との連携を進め、科学教室事業への参加機会を拡充する。 体育館や運動場等の施設を活かし、適応指導教室事業を充実させる。 施設を有効利用するため、研修室、調理室、体育館および運動場の貸し出しを行う。</p>
スケジュール	<p>平成 26 年 2 月 貸出施設の予約開始 4 月 学校教育支援センターの開設</p>
問合せ	<p>総合教育センター ☎ 3 9 0 4 - 4 8 8 1</p>

【 2 】	<h2 style="margin: 0;">特別教室にもエアコンを設置</h2> <h3 style="margin: 0;">～ 区立小中学校、幼稚園の暑さ対策を充実～</h3>	
特 色	<p>区立小中学校の特別教室・給食室と、区立幼稚園の保育室に空調機を設置する。全ての区立小中学校および区立幼稚園を対象とする。(ただし、校舎の改築等に伴い既に特別教室・給食室に空調機が設置されている学校を除く) 設置方法は、リース借り上げ方式とする。</p>	
予算額	188,173千円	充実



特別教室イメージ

事業目的	<p>区では、夏の暑さ対策のため、平成 20 年度に区立小中学校の普通教室、幼稚園の遊戯室等に空調機を設置した。今回、未設置となっている小中学校の特別教室・給食室、区立幼稚園の保育室に空調機を設置する。</p>	
事業概要	<p>区では、児童生徒の学習環境の改善による学習効果の向上および生活環境の向上を図るため、平成 20 年度に区立小中学校の普通教室等、幼稚園の遊戯室に空調機を設置した。しかし、小中学校の特別教室については、音楽室等一部の特別教室に設置しているが、理科室、美術室等については未設置となっている。また、幼稚園の保育室についても、未設置となっている。</p> <p>そこで平成 26 年度に、未設置となっている特別教室等へ空調機を設置することとする。また、給食室についても、空調機未設置校に対して、衛生環境を確保するとともに調理室内の労働環境の改善をはかるため、空調機を設置する。</p> <p>なお、設置にあたっては、設置費、維持補修方法、ランニングコストおよび環境への負荷など、様々な観点に配慮しながら、リース借り上げ方式を採用する。</p>	
スケジュール	平成 26 年度中 契約・設置工事	
問合せ	<p>学務課 ☎ 5984-5642 (区立幼稚園に関すること)</p> <p>施設給食課 ☎ 5984-5719 (区立小中学校に関すること)</p>	

【3】	<h2 style="margin: 0;">子育ての強い味方です！</h2> <h3 style="margin: 0;">～「こどもほっとステーション」がオープン～</h3>	
特色	練馬駅北口の複合施設「Coconeri（ココネリ）」内4階に、練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室、病児・病後児保育室を併設した認証保育所、小児科等診療所からなる「こどもほっとステーション」を開設する。	
予算額	練馬子ども家庭支援センター分室 103,950千円 保育施設等 112,360千円	新規



Coconeri（ココネリ）4階に開設



イメージ

事業目的	練馬駅北口区有地活用事業の一つとして、多様な子育てニーズに対応するため、駅前の立地特性を活かした子育て家庭への支援事業を展開する「こどもほっとステーション」を開設する。	
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室（平成26年4月開設） <ul style="list-style-type: none"> 『子どもと家庭の総合相談』『子育て啓発事業』『乳幼児一時預かり事業』等を実施する。『乳幼児一時預かり事業』は各子ども家庭支援センターで実施しているが、練馬駅北分室では駅前の立地特性を活かし、現行よりも単位数を増やし時間延長するとともに当日受付も行き、実施日も年末年始を除き通年で実施する。 2 保育施設等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認証保育所（平成26年8月開設） <ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消を図るため、認証保育所（定員40人）を整備する。この施設では、保護者の急病、看護、出産などで一時的に保育を必要とする児童も短期間預かる。 さらに、普段は保育所などに通っているが、病気の回復期や、症状が急変する恐れがない状態で、集団保育の困難な時期にある児童を専用室で預かる「病児・病後児保育事業」を実施する。 (2) 小児科等診療所（平成26年8月開設） <ul style="list-style-type: none"> 民間の小児科診療所を誘致する。 診療所は、上記の病児・病後児保育施設と連携するとともに、一般の診療所として診療を行う。 	
スケジュール	平成26年4月 練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室開設 8月 認証保育所、診療所開設	
問合せ	練馬子ども家庭支援センター ☎ 5984-4689（練馬駅北分室に関すること） 保育課 ☎ 5984-5837（認証保育所、小児科等診療所に関すること）	

<p>【 4 】</p>	<p>夏休みを楽しく、安全に！ ～子どもたちの夏休みの居場所づくりを推進～</p>	
<p>特 色</p>	<p>「夏休み居場所づくり」モデル事業の実施校数を3校から6校に拡充し、子どもたちの安全・安心な居場所を充実させる。 学童クラブ室と学校応援団ひろば室の合築施設を整備（1か所）し、学童クラブ待機児童対策を進める。</p>	
<p>予算額</p>	<p>186,726千円</p>	<p>充実</p>



イメージ



<p>事業目的</p>	<p>放課後等における子どもたちの安全で安心な居場所づくりと健全育成を図るために、区では、地域住民の協力を得て小学校全65校で実施する「学校応援団ひろば事業」と、共働き家庭など保育の必要な児童に遊びや生活の場を提供する「学童クラブ事業」との連携による「練馬区放課後子どもプラン」を平成19年度から進めている。プランに基づき、「夏休み居場所づくり」モデル事業の拡充や学童クラブ室と学校応援団ひろば室の整備などを行い、さらなる充実に取り組む。</p> <p>学校応援団ひろば事業とは、平日の放課後に、希望する児童に学校内に居場所を提供し、学校応援団がスタッフとして見守る事業</p>	
<p>事業概要</p>	<p>1 「夏休み居場所づくり」モデル事業（全児童対策事業） 夏休みにおける子どもたちの安全で安心な居場所づくりとして、夏休みは開設していない学校応援団ひろば室を活用した「夏休み居場所づくり」モデル事業を、昨年度の3校から6校に拡充して実施する。対象は希望する児童で、運営は学童クラブ運営事業者等に委託し、児童の見守り等を行う。更にこの成果を踏まえ、全児童を対象とした新たな放課後児童対策の検討を進める。</p> <p>2 学童クラブ室の整備事業（1か所） 学童クラブの定員増および学童クラブ事業と学校応援団ひろば事業とのさらなる連携を図るため、学童クラブ室と学校応援団ひろば室との合築施設を整備する。</p>	
<p>スケジュール</p>	<p>1 「夏休み居場所づくり」モデル事業（6小学校・実施校未定） 平成26年5～6月 保護者に事業実施の周知 7～8月 事業実施 9～10月 保護者アンケート等実施</p> <p>2 学童クラブ室の整備事業（大泉学園緑小学童クラブ） 平成26年8月 着工 平成27年4月 使用開始（受入上限60人を予定）</p>	
<p>問合せ</p>	<p>子育て支援課 ☎ 5984-5816</p>	

【 5 】	熱中症指標計を配布します！ ～ 高齢者の熱中症を予防するために～	
特 色	熱中症の危険性を測定し警告する熱中症指標計を、支援の必要性の高い75歳以上のひとりぐらし高齢者に配布する。 熱中症による体調不良に気が付きにくい就寝中も自動計測し、居室内の危険性を警告することで、高齢者自らが熱中症のリスクを正しく察知できる。 熱中症のリスクに気づき、適切な対策をとることができる。	
予算額	10,000千円	新規

熱中症指標計（イメージ）



高齢者は、熱中症への注意が特に必要です！

体内の水分が不足しがち
暑さを感じにくい
汗をかきにくい



事業目的	<p>平成25年夏の練馬区における熱中症の救急搬送された患者数は176人であり、また死亡者数は11人であった。死亡者はすべて高齢者であり、すべてが屋内で発見され、多くが夜間に発症していた。</p> <p>区では、従来、熱中症対策としてチラシの配布やポスター掲示等、広く熱中症に関する知識とその予防方法について普及啓発と注意喚起に取り組んできた。しかし、高齢者は口の渇きや暑さを感じにくいという特徴があり、適切な水分補給や室内温度の管理にいたらず、より重度化しやすい傾向がある。</p> <p>そこで、支援の必要性の高い75歳以上のひとりぐらし高齢者に対し、熱中症の危険性を注意喚起できる熱中症指標計を配布することで、熱中症になることを未然に回避することを目的とする。</p>
事業概要	<p>災害時要援護者名簿に登録している75歳以上のひとりぐらし高齢者、および75歳以上のひとりぐらし高齢者で希望する方に熱中症指標計を配布する。 (計2万個)</p> <p>熱中症指標計とは、気温と湿度から熱中指標値を測定し、危険性を段階的にライトとブザーで知らせる機器。</p>
スケジュール	<p>平成26年5月 区報により区民への周知 5～6月 配布</p>
問合せ	<p>光が丘総合福祉事務所 ☎ 5997-7726</p>

【 6 】	都有地活用！区内初の民設福祉園を整備 ～誰もが安心して暮らせる社会のために～	
特色	<p>重度障害者の日中活動の場を拡充し、地域生活の充実を図るため、区内都有地を活用して、通所による生活介護事業所1所（定員45名）を、民間事業所誘致により整備する。</p> <p>運営主体は民間法人であり、時間外支援や休日活動、年間支援日数の増加等、民間ならではの特色のある運営が図られる。</p>	
予算額	84,963千円	新規



福祉園完成イメージ図



調理活動

事業目的	<p>重度障害者の日中活動の場を拡充し、地域生活の充実を図るため、通所による生活介護事業所1所（民設福祉園：定員45名）を民間事業所誘致により整備する。</p> <p>これにより、区立7福祉園（生活介護事業所）に加え区内8か所目の重度障害者が利用できる福祉園が整備されることとなる。</p>	
事業概要	<p>都有地を活用し、生活介護事業所を運営する法人に対し、整備費、運営費等の一部について区が補助を行う。これにより、重度障害者支援に適した職員配置や送迎車両の運行等が可能となり、区立福祉園と同様のサービスが提供できる。</p> <p>民設福祉園では、利用者・家族の状況や希望等に応じ、個別支援計画に基づいた活動等を行う。</p> <p>【 都有地の概要 】</p> <p>所在地 練馬区田柄3丁目5645番2,3</p> <p>面積 595.37㎡</p> <p>その他 旧練馬消防署田柄出張所跡地</p>	
スケジュール	平成26年6月 開設予定	
問合せ	障害者施策推進課 ☎5984-1024	

【7】	生活が困窮し、立ちすくむ人々のために ～新たなセーフティネットのモデル事業実施へ～	
特色	生活困窮者自立支援法が、平成27年4月1日に施行となるのに先駆けて、生活困窮者への支援をモデル実施する。モデル事業では、新たに包括的かつ個別的な相談支援を行う自立相談支援事業と生活再建のための家計相談支援事業を実施する。27年度の適切な事業展開に向けて、支援対象者の把握の仕方や就労準備支援などの個別支援メニューの充実を図っていく。	
予算額	22,765千円	新規

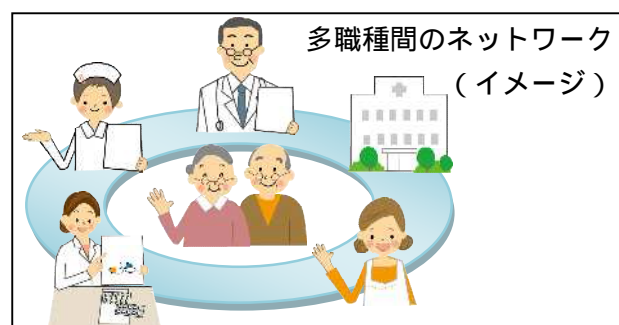
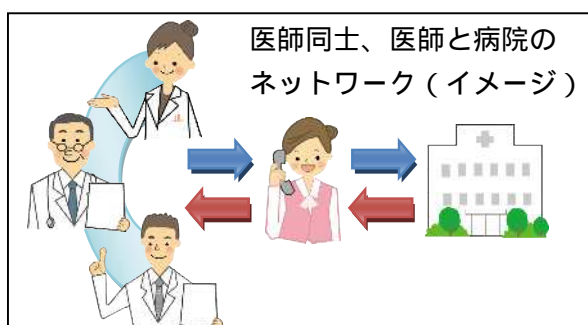
被保護世帯に占めるその他世帯の割合(毎年度末)

	被保護世帯数	その他世帯数	構成比
21年度	10,214	1,586	15.5%
22年度	11,154	1,953	17.5%
23年度	11,870	2,247	18.9%
24年度	12,427	2,349	18.9%
25年度 (11月時)	12,541	2,269	18.1%



事業目的	<p>経済状況の悪化に伴う安定した雇用の縮小や家族やコミュニティの低下等により社会経済構造が変化し、生活保護受給者が増加するとともに、生活保護に至らなくても生活に困窮している方が増えている。これらの方々には、単に経済的な問題だけでなく複合的な課題を抱え、社会的に孤立している場合も多い。</p> <p>そこで、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施する。地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者支援の制度化に向けた体制整備を行う。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活困窮者自立支援法の支援内容のうち、つぎの事業を練馬区社会福祉協議会に委託してモデル実施する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自立相談支援事業 (2) 家計相談支援事業 2 従来から実施している事業の活用 <p>ハローワークとの連携による就労支援、住宅支援給付、緊急一時宿泊事業など従来から実施している事業を具体的な支援策として活用する。</p> 3 支援体制の整備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 対象者の発見・把握から支援につなぐ道筋を整理し、庁内の各部署や各種関係機関との連携体制を構築する。 (2) 就労準備支援、子どもの学習支援等の個別支援の仕組みの充実を図る。
スケジュール	平成26年度中 モデル事業による実施、庁内連携体制の構築 平成27年4月 生活困窮者自立支援法に基づく本格実施
問合せ	練馬総合福祉事務所 ☎ 5984-1038

<p>【 8 】</p>	<p>自宅で安心して自分らしい生活を続けるために ～在宅療養推進ネットワークの構築～</p>	
<p>特 色</p>	<p>練馬区医師会をはじめとした医療・介護の関係者との緊密な連携により、在宅療養を支える二つのネットワークを構築。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医師同士、医師と病院のネットワーク 2 医療・介護に関わる多職種間のネットワーク 	
<p>予算額</p>	<p>14,985千円</p>	<p>充実</p>



<p>事業目的</p>	<p>高齢者等が疾病を抱えても、自宅で安心して自分らしい生活を続けられるように、医療・介護に関わる地域の多職種が連携して在宅療養を支える体制を構築する。</p> <p>区では在宅療養の推進を図るため、平成25年6月に医療・介護関係者等を構成員とした在宅療養推進協議会を設置し、多職種の連携強化等の課題解決に向けた検討を重ねている。平成26年度は、同協議会における議論を踏まえ、練馬区と練馬区医師会をはじめとした医療・介護の関係者が連携・協力し、課題解決に向けた具体的な取組みを積極的に展開する。</p>	
<p>事業概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 後方支援病床の確保等 区内病院の協力のもと後方支援病床を確保し、患者の病状変化時における円滑な病床利用を実現するとともに、病院から在宅への円滑な移行を図るため、練馬区医師会医療連携センターによるコーディネートを通した区内の医師と病院の連携を推進する。 2 事例（症例）検討会の実施 多職種の連携を深めるとともに、医療・介護関係者の顔の見える関係づくりを進めるため、事例（症例）検討会を実施する。 3 その他、医療・介護関係者への研修、区民向けシンポジウム、ICTを活用した関係者間情報共有試行事業を実施する。 各事業については、東京都の在宅療養推進区市町村支援事業補助金等を活用 	
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年 4月 練馬区医師会医療連携センターによるコーディネート開始 9月 事例（症例）検討会の実施 10月 在宅療養シンポジウムの開催</p>	
<p>問合せ</p>	<p>地域医療課 ☎ 5984-1042</p>	

【9】	地域を守るのは君だ！防災学習センター開設 ～大人も子どもも目指せ防災リーダー！～	
特色	<p>学校跡施設を活用し、防災に係る人材育成のための新たな施設を開設。防災について、それぞれの知識や活動状況に応じて学べるように数種類の研修コースを実施。</p> <p>新たに導入する起震車による地震体験のほか、初期消火のための消火器や消火用ポンプ、スタンドパイプ等の各種資器材操作体験を行うことが可能。防災に関心のなかった方も気軽に見学し、学べる展示室を設置。</p>	
予算額	60,893千円	新規



区民向けコースの様子



普通救命講習の様子

事業目的	<p>未曾有の被害をもたらした東日本大震災を受け、地域のさらなる防災力の向上に向け、防災に係る普及啓発がより重要となっている。</p> <p>そこで、地域において防災活動を行う人材を育成するとともに、地震をはじめとする災害に対する区民の防災意識の啓発および向上を図るために実施する「ねりま防災カレッジ事業」の中心拠点として、練馬区立防災学習センターを開設し、一層の充実を図る。</p>	
事業概要	<p>防災に関する 研修、学習・教育、調査・広報、支援、場や機会の提供等の事業を行う中心拠点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室では、防災知識の習熟度に合わせた区民向けクラス別コースや夏休み中の子ども向け防災講座、普通救命講習など、年間を通じて各種講座を実施する。 ・展示室では、小学生から大人まで防災の基礎が学べるよう、パネルや模型等の常設展示を行うとともに、図書資料や映像資料等の閲覧スペースを設け、区民が自ら防災について学習できる施設とする。 ・また、運動場や体育館を利用し、起震車体験や初期消火体験等の各種体験講座を実施する。 	
スケジュール	<p>平成26年4月 防災学習センター開設</p> <p>【所在地】練馬区光が丘六丁目4番1号(光が丘第二小学校跡施設)</p> <p>【主要施設】1階展示室、3階研修室</p> <p>【休館日等】毎週月曜日(休日の時は直後の平日)、年末年始(12/29～1/3)</p>	
問合せ	<p>震災対策担当課 ☎ 5984-2761</p>	

<p>【10】</p>	<p>豪イプスウィッチ市との友好交流 20 年 ～ 区民が、中学生が育んできた友好の絆～</p>	
<p>特色</p>	<p>練馬区とオーストラリア・イプスウィッチ市との友好都市提携 20 周年の記念式典を練馬区で開催する。 向山庭園で催す歓迎の茶会で、練馬区立中学校生徒がお点前を披露する。</p>	
<p>予算額</p>	<p>1,666千円</p>	<p>充実</p>



10周年記念式典
平成16年10月 ネリマガーデンにて



平成25年度区立中学生海外派遣
さよならパーティの様様

<p>事業目的</p>	<p>練馬区とオーストラリア クイーンズランド州イプスウィッチ市は、平成6年に友好都市提携を結んで、平成26年で20年を迎える。そこで友好交流20周年を記念して、イプスウィッチ市長を練馬区に迎え、記念行事を通じて今後も更なる友情と信頼を育んでいくことを目的とする。</p> <p>区は平成5年から区立中学校の代表生徒をイプスウィッチ市へ派遣している。現地では異なる文化や生活習慣を直接体験し友好親善を深めている。派遣終了後には派遣生が校内報告会等で自らの体験を他の生徒に伝えており、他の生徒も含めた国際理解、学習への意欲付けに大きな教育効果を生み出している。</p>	
<p>事業概要</p>	<p>これまでの友情と信頼を称え、更なる発展を誓う調印式を行う。練馬まつり式典において記念セレモニーを行い、区民の皆様と20周年を祝う。その後、向山庭園で歓迎の茶会を催し、区立中学校生徒も参加し交流を深める。</p> <p>イプスウィッチ市は州都ブリスベンの南西40キロに位置する面積1,207平方キロメートル、人口約15万人の都市である。石炭の発見と州内で最初に敷かれた鉄道の利用で発展し、現在も多くの歴史的な建物が保存されている。</p> <p>【主な交流事業】</p> <p>平成13年 5月 イプスウィッチ市に日本庭園「ネリマガーデン」開園</p> <p>平成16年10月 友好都市提携10周年記念事業をイプスウィッチ市で開催</p> <p>平成18年 9月 イプスウィッチ市青少年楽団が練馬区で合同演奏会を開催</p> <p>平成22年 4月 練馬区と練馬区手工芸作家連盟訪問団がイプスウィッチ市150周年記念事業に参加</p>	
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年10月 イプスウィッチ市友好訪問団来日 練馬まつりでのセレモニー、歓迎茶会、記念調印式</p>	
<p>問合せ</p>	<p>国際・都市交流課 ☎ 5984-1302</p>	

【11】	<h2 style="margin: 0;">よろず企業相談うけたまわります！</h2> <h3 style="margin: 0;">～練馬ビジネスサポートセンターの開設～</h3>	
特色	<p>区内産業の振興のための中核的な拠点として、練馬産業振興センターを開設する。施設内には、練馬ビジネスサポートセンター（ネリサポ）を設置し、事業者等からの経営改善等に関する相談に対し、金融機関での豊富な経験を有するビジネスマネージャーが、融資資金あっせん、販路拡大、創業等への様々な助言・支援を行い、中小企業の活性化を図り、区内産業経済の発展に寄与していく。</p>	
予算額	172,793千円	新規



Coconeri（ココネリ）完成予定外観図



ネリサポ相談（イメージ）

事業目的	<p>平成26年4月14日（月）にオープンする区民・産業プラザ（練馬駅北口の複合施設「Coconeri（ココネリ）」の3・4階に整備）は、練馬産業振興センター、区民交流ホール（Coconeriホール）、区民協働交流センターの総称で、練馬産業振興センターは、産業振興の中核的な拠点として、区内の事業者や産業経済団体の総合的な支援等を行う。</p>	
事業概要	<p>練馬産業振興センター内には、練馬ビジネスサポートセンター、産業・観光情報コーナー、産業イベントコーナー、研修室を設置するほか、区内産業経済団体事務所が入居・集結する。</p> <p>練馬ビジネスサポートセンター 金融機関との連携のもと常駐するビジネスマネージャーおよび専門相談員が、事業者からの相談に対し、ワンストップによるきめ細やかな総合相談支援サービスを実施する。</p> <p>産業・観光情報コーナー、産業イベントコーナー 練馬駅地下の観光案内所を移転・統合する産業・観光情報コーナーは、区内の製品の販売とともに産業・観光情報を発信する。産業イベントコーナーは、区内事業者による見本市開催等の場として活用する。</p> <p>研修室（大・中・小5室） 企業等の研修や会議等の場として活用する。</p> <p>区内産業経済団体（練馬区産業振興公社など5団体）事務所 区内産業経済団体が入居し、団体間および区との連携した活動の促進を図る。</p>	
スケジュール	<p>平成26年4月14日</p> <p>4月～7月</p>	<p>区民・産業プラザ（練馬産業振興センター、区民交流ホール、区民協働交流センター）の開設、練馬ビジネスサポートセンターの事業開始</p> <p>各種オープニングイベントの実施</p>
問合せ	<p>経済課 ☎ 5984-2667</p>	

【12】	<h2 style="margin: 0;">区内 4 幹線道路を走破しよう！</h2> <h3 style="margin: 0;">～ 第 1 回（仮称）ねりまシティマラソン！来春号砲！～</h3>	
特 色	<p>区内の主要幹線道路（笹目通り、目白通り、環八通り、川越街道）を走ることができるハーフマラソン。</p> <p>23 区内でのマラソン大会の多くはコースの大部分に河川敷や大規模公園内を利用している。（仮称）ねりまシティマラソンはコースの 90%以上が公道であり、23 区内で開催されているマラソン大会（国際大会等は除く）としては珍しいコース設定である。</p>	
予算額	55,516千円	新規



ねりま光が丘ロードレースの様子

事業目的	<p>マラソンを通じて参加者の健康増進・体力向上とスポーツ推進を図る。また、練馬区は 23 区最大の都市農業や、アニメ産業、さらに文化芸術資産等多くの誇るべき魅力を有している。こうした練馬の魅力をマラソン大会を通じて全国に発信するとともに、人と人との出会いを創出し、区民同士のみならず全国からの参加者との絆を深めることで、活力とにぎわいあふれる「わがまち練馬」の実現を目指す。</p>	
事業概要	<p>区 分：ハーフマラソン(21.0975km) 日 時：平成 27 年 3 月 29 日(日) 午前 8 時スタート(雨天決行) 参加者：5,000 人 制限時間：2 時間 30 分</p>	
スケジュール	<p>平成 26 年 3 月 シティマラソン実行委員会設立 6 月 開催決定のお知らせ(区報掲載等) 10 月 参加者・ボランティア募集 平成 27 年 3 月 第 1 回ねりまシティマラソン開催</p>	
問合せ	<p>スポーツ振興課 ☎ 5984-2452</p>	

【13】	<p style="text-align: center;">豊かなみどりの中でスポーツや文化芸術を ～石神井松の風文化公園がよいよ開園～</p>	
特色	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広々とした芝生や石神井の歴史を伝えるアカマツ林など、豊かなみどりに親しめる約4.7ヘクタールの大規模公園。 ■ テニスや少年野球、少年サッカーなどのスポーツ活動の場として利用できる。 ■ 公園管理棟の一部を石神井公園ふるさと文化館の分室とし、練馬区ゆかりの文化人を紹介するとともに、五味康祐氏のオーディオ展示や檀一雄氏の書斎の再現展示等を行い、石神井公園を含めた散策、まち歩きの出発点として石神井公園ふるさと文化館と一体的に運営する。 	
予算額	<p>271,674千円</p> <p>石神井松の風文化公園維持運営費 77,110千円</p> <p>ふるさと文化館維持運営費 194,564千円</p>	新規

園内案内図

松林の広場

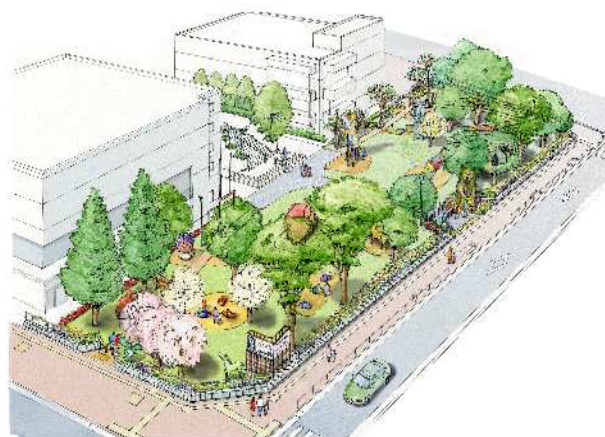


事業目的	<p>旧日本銀行石神井運動場のみどり豊かな敷地を生かし、自然、スポーツ、文化芸術に親しめる公園として、平成26年4月1日（火）に開園する。</p>	
事業概要	<p>主な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 多目的広場（約7,731㎡）・・・少年野球、少年サッカーなど ◆ 庭球場 7面（約4,182㎡）・・・砂入り人工芝6面、全天候型1面 ◆ 展示室、交流ラウンジなど（管理棟内） ◆ 松林の広場（約7,000㎡） 芝生地とアカマツ林を保全し、地域の特徴的な景観を残した広場 ◆ 花と木立ちの広場（約7,000㎡） 武蔵野の自然をイメージし、花と木立ちに包まれた広場 ◆ 友好のつつじ（約263㎡） 区の花「つつじ」に縁のある久留米市・館林市・埴町寄贈の大株つつじ植栽 	
スケジュール	<p>平成26年4月 開園（所在地：練馬区石神井台1丁目33番）</p>	
問合せ	<p>スポーツ施設に関すること スポーツ振興課 ☎ 5984-2452</p> <p>展示室に関すること 文化・生涯学習課 ☎ 5984-2435</p>	

【14】	<h2 style="text-align: center;">美術の森緑地にアートを</h2> <p style="text-align: center;">美術の森緑地で動物の彫刻がお出迎え ～新たな観光スポットをめざし美術の森緑地整備に着手～</p>	
特色	<p>美術館の屋外展示機能を有する場として整備し、新たな観光スポットへ。より多くの区民や美術ファンに愛される美術館を目指し、平成 22 年度、開館 25 周年を機に、美術館のキャッチフレーズとロゴ・マークを作成。</p> <p>美術の森緑地は、こうした取り組みをより一層発展させるものとして、美術館と地域の文化的イメージを高め、区の新たな観光スポットとしてその魅力を発信していく。</p> <p>緑地を天然芝等とし、心の癒しとなる動物をテーマとする彫刻を設置。さらなる取り組みとして、平成 26 年度企画展で「あしたのジョー」の時代をまんが・アニメを起点に総合的な文化の視点から紹介する。</p>	
予算額	1 3 4 , 8 6 4 千円	新規



キャッチフレーズとロゴ・マーク



整備イメージ図

事業目的	<p>美術館入口に隣接する美術の森緑地を、美術館の前庭と位置付け、野外展示の場、美術館へいざなう場として一体的に活用する。</p> <p>美術館と美術の森緑地を、練馬区の観光スポットとして、利用者の拡大を目指すとともに、地域のまちづくりにも貢献する。</p>
事業概要	<p>美術の森緑地を、彫刻作品展示に相応しい天然芝等とし、誰もが楽しめ、心の癒しとなる動物をテーマとする彫刻作品を中心に配置する。作品はみどりと調和にも配慮し、既存樹木もできる限り活用する。また、美術館正面出入口および車椅子出入口に案内するメインエントランスと園路を確保し、バリアフリーに最大限配慮した整備とする。</p>
スケジュール	平成 26 年度 彫刻制作・工事・開園
問合せ	文化・生涯学習課 ☎ 5 9 8 4 - 2 4 3 5

【15】	<h2 style="margin: 0;">わんぱくでいいじゃないか！！</h2> <h3 style="margin: 0;">～「(仮称)こどもの森」の整備が始動～</h3>	
特色	<p>子どもたちが木登りや穴掘りなど、都市にいながら自然の中で冒険遊びが楽しめるこれまでにない新しい形の公園を整備する。</p> <p>ブランコや滑り台などの一般的な遊具ではなく、この地に自生していた自然木やキウイ畑などを、そのままこどもの遊び場として活用する。子どもたちが木や土に直接触れることによって、みどりの大切さを実感してもらう。</p> <p>みどりの環境資源を活かした遊び場作りは、東京 23 区でも珍しい試みである。</p>	
予算額	整備工事：91,579千円 運営方針の確立：14,148千円	充実



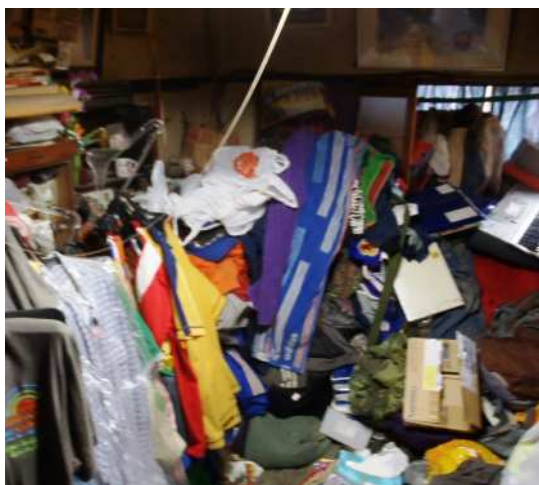
体験イベントの様子（ロープわたり）



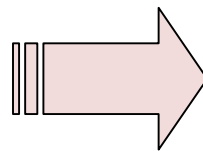
体験イベントの様子（キウイ収穫）

事業目的	<p>子どもたちが練馬のみどりの中で交流しながら楽しむ自然体験や自由遊びを通じて地域や環境への愛着を深めるとともに、練馬のみどりの保全と創出に向けた心を醸成することを目的とし、「(仮称)こどもの森」を整備する。</p>	
事業概要	<p>「(仮称)こどもの森」事業は、これまで、平成 23 年度から三か年にわたり羽沢二丁目緑地予定地において体験イベントを開催し、延べ 3,054 人の方々の参加を得て、様々な意見をいただいた。それらの意見や整備基本計画のパブリックコメントなどを参考に、羽沢二丁目緑地予定地を「(仮称)こどもの森」の常設の施設として整備工事を開始する。(仮称)こどもの森は、こどもの自由な発想で遊ぶことができる「自由遊びゾーン」や木登りなど体を使って自由に遊べる「冒険遊具ゾーン」、キウイの成長確認や収穫体験、自然観察などができる「実り収穫ゾーン」から構成されている。</p> <p>平成 26 年度は、平成 27 年度の開園に向け、整備工事を実施するとともに、運営形態などの運営方針を定めていく。</p>	
スケジュール	平成 26 年度 整備工事（所在地：羽沢 2 丁目 32 番、面積：約 3,043 m ² ） 平成 27 年度 開園予定	
問合せ	みどり推進課 ☎ 5984 - 2430	

<p>【16】</p>	<p>ごみをため込んでしまった高齢者宅等を支援 ～ 23区初！ごみ片づけ『あしすと』事業を試行～</p>	
<p>特色</p>	<p>高齢者や障害者のみの世帯で、部屋にごみを溜め込んでしまい住環境が悪化している世帯のごみ出しを区が支援。 清掃事務所の職員が居宅内でごみの分別や片づけを実施。 日頃の保健・福祉の見守りで早期発見した世帯に、必要なサービスをより迅速かつ正確に提供。 ごみを片づけることで、生活衛生の向上と地域の良好な住環境を確保。</p>	
<p>予算額</p>	<p>198千円（安全靴、マスク、手袋等）</p>	<p>新規</p>



事業実施前

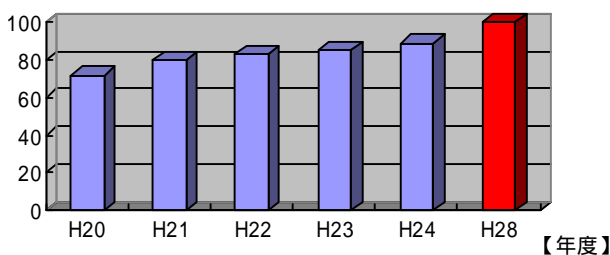


事業実施後

<p>事業目的</p>	<p>高齢や障害等により、ごみを溜め込んでしまう世帯の片づけからごみ出しまでを支援することにより、対象世帯の生活環境の改善を図り、地域で安心して生活できる住環境を提供することを目的とする。</p>
<p>事業概要</p>	<p>高齢者や障害者ケアの担当者が日頃の見守りの中で、ごみを溜め込んでいて、ごみ出しの支援が必要な世帯を発見し、清掃事務所に連絡する。 連絡を受けた清掃事務所職員が世帯を訪問し、高齢者等の意向を伺いながら、ごみの分別、ごみの片付け、部屋の中からのごみや粗大ごみの運び出しを支援し、ごみの収集を行う。 清掃担当職員が、居宅内に直接入ってごみの片づけや運び出し等を行うことで、短時間で住環境の改善を図る。 平成25年9月からの試行状況は、すでに30件あまり実施した。 支援を受けた区民からは「自分では手に負えなくなってしまって・・・、ここまでしていただけて感謝しています。」との言葉があった。</p>
<p>スケジュール</p>	<p>平成26年度 事業の試行（平成25年9月から試行開始） 平成27年度 本格実施</p>
<p>問合せ</p>	<p>清掃リサイクル課 ☎ 5984-2654</p>

<p>【17】</p>	<p>年間利用 100 万人を目指して ～みどりバスの更なる利用促進に取り組む～</p>	
<p>特色</p>	<p>平成 21 年度に、コミュニティバスの愛称を「みどりバス」に統一。 平成 24 年度には、年間利用人数が約 89 万人。 (平成 20 年度の年間利用人数は、約 72 万人。5 年間で約 1.2 倍の増) この春には、氷川台ルート(現在、光が丘駅、練馬春日町駅、氷川台駅と接着)が 練馬駅、東武練馬駅に乗り入。鉄道駅 5 駅と結ばれ、さらに便利に。</p>	
<p>予算額</p>	<p>1 8 9 , 1 6 0 千円</p>	<p>充実</p>

【単位：万人】



みどりバスの年間利用人数の推移



みどりバス

<p>事業目的</p>	<p>区は、既存路線バスを補完し、高齢者・障害者などの交通弱者を含めた区民全体の生活行動力の向上や、公共公益施設への交通の利便性向上を図り、あわせて公共交通空白地域の改善などに寄与することを目的に、みどりバスを 6 ルートで運行している。</p> <p>みどりバスの運行サービスの充実に向けては、運行経費における区の負担を軽減することが必要であることから、利用促進に資する広域的な広報活動を展開する。</p> <p>こうした取り組みなどを経て、3 年後には、年間利用人数が 100 万人になることを目指し、以って収支の改善を図る。(現在、運行経費のうち約 52% を区が負担[平成 24 年度実績：決算ベース])</p> <p>さらに、区が平成 21 年 3 月に策定した、「公共交通空白地域改善計画」について、計画の見直しも視野に入れ、これまでの取組について、検証、評価した上で、都市交通の新たな動向などを踏まえ、適切に対応していく。</p>
<p>事業概要</p>	<p>利用促進のために、以下の取組を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区の観光資源やねり丸を活用した、利用促進策を検討し、実施 2 鉄道とバスの乗換えのわかりやすい案内表示を検討し、導入 3 公共交通空白地域改善計画における、これまでの取組を検証、評価
<p>スケジュール</p>	<p>平成 26 年 春 氷川台ルートの再編運行開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編運行にあわせて、利用促進策を検討し、実施。さらに、鉄道駅におけるバス乗換案内を検討し、わかり易い案内表示の導入を図る。 <p>夏～秋 周知キャンペーンを実施</p> <p>年度末まで 公共交通空白地域改善計画における、これまでの取組を検証、評価。</p>
<p>問合せ</p>	<p>交通企画課 ☎ 5 9 8 4 - 1 5 4 9</p>

【18】	通勤・通学から買い物利用まで ～使いやすい自転車駐車を整備します～	
特色	<p>鉄道の高架化や再開発事業など、駅周辺の都市基盤整備に合わせて、恒久的な区立自転車駐車を整備する。</p> <p>自転車利用者の利便性を考慮し、非接触型のＩＣカード（パスモ、スイカなど）に対応したサイクルゲートシステムや電磁ロック式ラックなどを導入するとともに、短時間利用などの目的にも応じた区立自転車駐車を提供し、午後や休日の放置自転車の解消を図る。</p>	
予算額	1,427,296千円	充実



(仮称)大泉学園駅北第四自転車駐車場完成予想図



短時間無料自転車駐車場

事業目的	<p>駅周辺の都市基盤整備に合わせて自転車駐車を整備し、恒久的に利便性の高い自転車の利用環境を整備する。</p> <p>自転車利用者の利用目的に応じた自転車駐車の整備を進めることで、駅周辺の通行の妨げや景観を損なう放置自転車を解消し、安全で快適な自転車利用環境の向上を図る。</p>	
事業概要	<p>通勤・通学など長時間駐車を利用目的とした自転車駐車場として、大泉学園駅周辺において取得した用地に、収容台数約500台の(仮称)大泉学園駅北第四自転車駐車を整備し開設する。また、新たに大泉学園駅北口再開発事業や上石神井駅南口での用地取得により自転車駐車を整備する。</p> <p>一時利用の自転車駐車場においては、非接触型のＩＣカード（パスモ、スイカなど）に対応したサイクルゲートシステムや電磁ロック式ラックの導入を計画的（6か所程度/年）に実施し、自転車利用者の利便性の向上を図る。</p> <p>あわせて、買い物等の短時間利用の無料化を図り、買い物客などが利用しやすい自転車駐車を提供するとともに、地元商店会や町会など、地域との連携をとおして、平日午後や休日の放置自転車の解消を図る。</p>	
スケジュール	<p>自転車駐車場整備</p> <p>平成26年10月 (仮称)大泉学園駅北第四自転車駐車場 開設</p> <p>自転車駐車場改修(ゲートシステム、電磁ロック式ラックへの改修)</p> <p>平成26年6月～平成27年3月</p> <p>大泉学園駅周辺他、計6施設</p>	
問合せ	<p>交通安全課 ☎ 5984-1989</p>	

【19】	自転車シミュレーターで交通ルールを学ぼう！ ～ルールやマナーを守って安全運転～	
特色	子どもから高齢者まで、地域の公共施設で気軽に自転車シミュレーターで走行体験することにより、「交通ルールやマナーの学習」と「危険予測トレーニング」ができる。 16台という多数の自転車シミュレーターを導入して配置・活用している都内の区市町村はない。	
予算額	10,000千円	新規



自転車シミュレーターイメージ図



ねり丸も交通ルールを守るよ！

事業目的	自転車は幅広い年齢層が利用する乗り物であるが、自転車利用者の交通ルールやマナーが守られていないという声が、区民から近年多数寄せられている。区内交通事故当事者のうち、自転車利用者は2割を超えているのが現状である。区はこれまでも、小学生を対象とした自転車の安全な乗り方教室、中学生を対象にスタントマンを使った事故再現による交通安全教室などを実施してきた。さらに平成26年度においては、あらゆる世代に効果的な交通安全のルール・マナーの啓発を図るため、気軽に学習できる自転車シミュレーターを導入する。	
事業概要	自転車シミュレーター16台を導入し、地区区民館等に設置するほか、自転車安全講習会での活用や貸し出しにも対応する。 導入効果としては、様々な年齢層に対応したソフトが内蔵されており、子どもから高齢者まで幅広い方々が利用できること。自転車運転の際に起こりうる交通状況を再現し、交通ルールやマナーを学べるとともに、危険な状況も疑似体験できること。自転車シミュレーターの体験により、危険予測の能力を高め、安全意識の向上を促すことができること等が挙げられる。	
スケジュール	平成26年7月～ 平成26年9月末	順次配備 配備完了
問合せ	交通安全課 ☎ 5984-1989	

【20】	見えない地下の安全も忘れない！ ～陶製の下水管を交換し、道路陥没を防ぎます～	
特色	<p>道路陥没の主な要因となっている汚水枡および雨水枡の陶製でできた取付管部を、より衝撃に強い硬質塩化ビニル管に取替えることにより、道路陥没を未然に防ぐことに有効である。</p> <p>区が道路維持補修工事を施工する際、都下水道局と連携して、汚水枡取付管も合わせて改良することにより、効率的に道路陥没対策を行うことが可能である。</p>	
予算額	199,044千円	新規



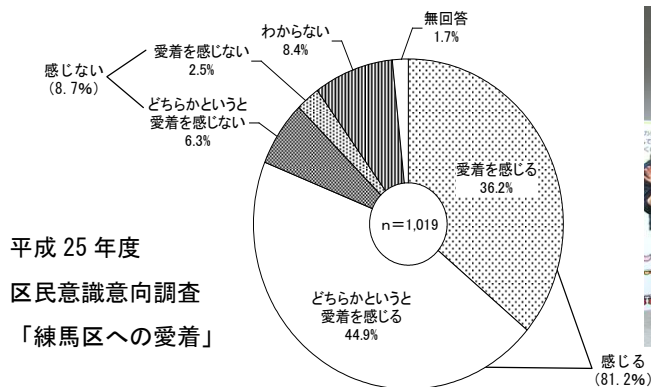
道路陥没状況



道路陥没による事故状況

事業目的	<p>昭和42年度から始まった区内の下水道整備は、平成7年度末に普及率がおおむね100%に達し、路面排水設備は区が、下水道設備は都下水道局が管理している。下水道設備は敷設後20年を経過しているものが大部分であり、そのうえ道路下に埋設されているため、敷設後の状態を把握しにくいのが現状である。</p> <p>こうした中、区が管理している道路で、毎年約30件の道路陥没が発生しておりその約8割が、各家庭からの汚水や路面排水を下水道管に收容するための取付管の破損に起因する、道路陥没となっている。</p> <p>道路陥没は、歩行者や車両の通行において、重大な事故につながる危険性を含んでいる。</p> <p>そのため、区の道路維持補修工事の施工時に、汚水枡および雨水枡の陶製の取付管を、衝撃に強い硬質塩化ビニル管に取替えることにより、道路陥没を未然に防ぎ、安全・快適な道路環境の整備に努める。</p>	
事業概要	<p>路面排水を收容する雨水枡は、20～30m毎に設置している。各家庭の汚水を下水道管に收容するための汚水枡は、各宅地前にあるため雨水枡より数量が多い。</p> <p>区の道路維持補修工事に合わせて、雨水枡取付管を陶管から硬質塩化ビニル管に取替えて行く。また、都下水道局と連携して、汚水枡取付管も同様に取替えて行く。</p> <p>道路維持補修工事予定 7,450m（30路線） 汚水枡取付管補修 950箇所 雨水枡取付管補修 500箇所</p>	
スケジュール	平成26年度から毎年度実施	
問合せ	道路公園課 ☎ 5984-2378	

<p>【21】</p>	<p>練馬への好感度、さらにアップします！ ～「ねりまっいいね！」を発信～</p>	
<p>特色</p>	<p>■練馬の魅力を発信する観点から、シティプロモーション用の映像やポスターを制作し、マスメディアなどを活用した広報キャンペーンを展開する。</p> <p>■区民への発信だけでなく、対外的なブランド広報に本格的に取り組むのは、23区では珍しい。</p>	
<p>予算額</p>	<p>48,713千円</p>	<p>新規</p>



ねり丸とねり丸キャラバン隊メンバー

<p>事業目的</p>	<p>区では、平成 25 年 4 月に、外部から広報の専門家を登用してシティプロモーション担当を設置し、同年 9 月には、練馬区のイメージアップを図ることを目標とする「練馬区広報戦略基本方針」を策定した。</p> <p>平成 25 年度区民意識意向調査では、「住みごこち」については 9 割が肯定的な評価をし、「練馬区への愛着」については 8 割が愛着を感じると答えており、区民の区に対する満足度は高い。一方で、練馬区には、豊かなみどりやアニメ・農業などの特色ある産業、また、文化・芸術資産があるものの、それが区のイメージとして定着するまでには至っていない状況が見られている。</p> <p>そこで、平成 26 年度は、練馬区広報戦略基本方針に基づき、シティプロモーションをさらに推進するため、練馬の魅力を PR する映像やポスターを制作し、マスメディアなどを活用した広報キャンペーンを区内はもとより区外へも展開する。</p>
<p>事業概要</p>	<p>以下の取組みを組み合わせた広報キャンペーンを展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シティプロモーションビデオを制作し、テレビでの CM 放映や YouTube などを活用したインターネット動画配信、鉄道車内での動画放映を行う。 2 シティプロモーションポスターを作成し、鉄道駅構内などに掲出し、乗降客に対するの広報活動を実施する
<p>スケジュール</p>	<p>平成 26 年 8 月～9 月 広報キャンペーン実施</p>
<p>問合せ</p>	<p>広聴広報課 ☎ 5984-2680</p>



平成 26 年度 練馬区当初予算案

記者発表資料

発行 練馬区区長室広聴広報課

〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1

TEL 03-5984-2693